

図表 23 「利用頻度」「利用環境の厳しさ」「休憩できる自然」「施設の充実度」によるルートの階級分け及び整備の必要性

No.	路線名	項目ごとのルートの区分										ルートの階級			整備の必要性 (①×④)
		①利用頻度	②利用環境の厳しさ	③休憩できる自然	④施設の充実度	本道 石段 階段	標識	東屋 小屋	合計	利用者のレベル (②+④)	体験の質 (②+③)				
1	龍神杉線	利用が少ない	1 厳しい	2 高い	2 とても充実している	3	3	1	7	1	→	中級登山者	3 自然を感じる	4	低い 1
2	愛子岳線	利用が少ない	1 厳しい	2 高い	2 充実していない	1	2	1	4	3	→	上級登山者	5 自然を感じる	4	低い 3
3-1	白谷雲水峽	頻繁に利用される	3 油断できない	1 そこそこ高い	1 とても充実している	3	3	2	8	1	→	観光客～初級登山者	2 自然にふれる	2	低い 3
3-2	楠川線 (大政岩～楠川分れ)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実していない	1	2	1	4	3	→	上級登山者	5 自然を感じる	4	高い 6
4-1	永田線 (登山口～竹の辻)	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 高い	2 充実していない	1	1	1	3	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	3	低い 3
4-2	永田線 (竹の辻～鹿之沢小屋)	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	1	1	1	3	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	低い 3
4-3	永田線 (鹿之沢小屋～永田岳)	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	1	1	2	4	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	低い 3
4-4	永田線 (永田岳～焼野三叉路)	一定の利用がある	2 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	2	1	1	4	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	高い 6
5	花山線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	1	1	1	3	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	低い 3
6	花之江河ヤクギスギランド線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	1	1	2	4	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	低い 3
7-1	ヤクギスギランド	頻繁に利用される	3 油断できない	1 そこそこ高い	1 とても充実している	3	3	2	8	1	→	観光客～初級登山者	2 自然にふれる	2	低い 3
7-2	太忠岳線 (蛇紋彩～太忠岳)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実していない	1	2	1	4	3	→	上級登山者	5 自然を感じる	4	高い 6
8-1	宮之浦店縄文杉線 (トロッコ道)	頻繁に利用される	3 油断できない	1 そこそこ高い	1 とても充実している	3	3	2	8	1	→	観光客～初級登山者	2 自然にふれる	2	低い 3
8-2	宮之浦店縄文杉線 (大杉歩道)	頻繁に利用される	3 油断できない	2 高い	2 とても充実している	3	3	1	7	1	→	中級登山者	3 自然を感じる	4	低い 3
8-3	宮之浦店縄文杉線 (高塚小屋～平石岩屋)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 とても充実している	3	2	2	7	1	→	中級登山者	3 自然を感じる	4	低い 2
8-4	宮之浦店縄文杉線 (平石岩屋～花之江河)	頻繁に利用される	3 厳しい	2 非常に高い	3 とても充実している	3	3	1	7	1	→	中級登山者	3 自然に拵む	5	低い 3
8-5	宮之浦店縄文杉線 (淀川口～花之江河)	頻繁に利用される	3 厳しい	2 高い	2 とても充実している	3	3	1	7	1	→	中級登山者	3 自然を感じる	4	低い 3
8-6	宮之浦店縄文杉線 (花之江河～黒味店)	一定の利用がある	2 厳しい	2 非常に高い	3 充実している	2	2	1	5	2	→	中級登山者	4 自然に拵む	5	ある 4
9	栗生線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	1	1	1	3	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	低い 3
10	湯泊線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	1	1	1	3	3	→	上級登山者	6 自然に拵む	6	低い 3
11	モツチヨム岳線	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実していない	1	2	1	4	3	→	上級登山者	5 自然を感じる	4	高い 6
12-1	尾之間線 (登山口～此之口滝)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実している	1	2	2	5	2	→	中級登山者	4 自然を感じる	4	低い 2
12-2	尾之間線 (此之口滝～淀川口)	利用が少ない	1 厳しい	2 非常に高い	3 充実していない	1	1	1	3	3	→	上級登山者	5 自然に拵む	5	低い 3

【ランクの凡例】

※ ①「利用頻度」…1) 利用が少ない (年間2000人未満)、2) 一定の利用がある (年間2000～10,000人未満)、3) 頻繁に利用される (年間10,000人以上)

※ ④「施設の充実度」…1) とても充実している (合計ランク：7-8)、2) 充実している (合計ランク：5-6)、3) 充実していない (合計ランク：3-4)

→ 「本道等」…1) ほとんどない、2) 設置されている、3) 十分設置されている

→ 「標識」…1) ほとんどない、2) ある、3) いくつも

→ 「東屋等」…1) ほとんどない、2) 設置されている

別紙5

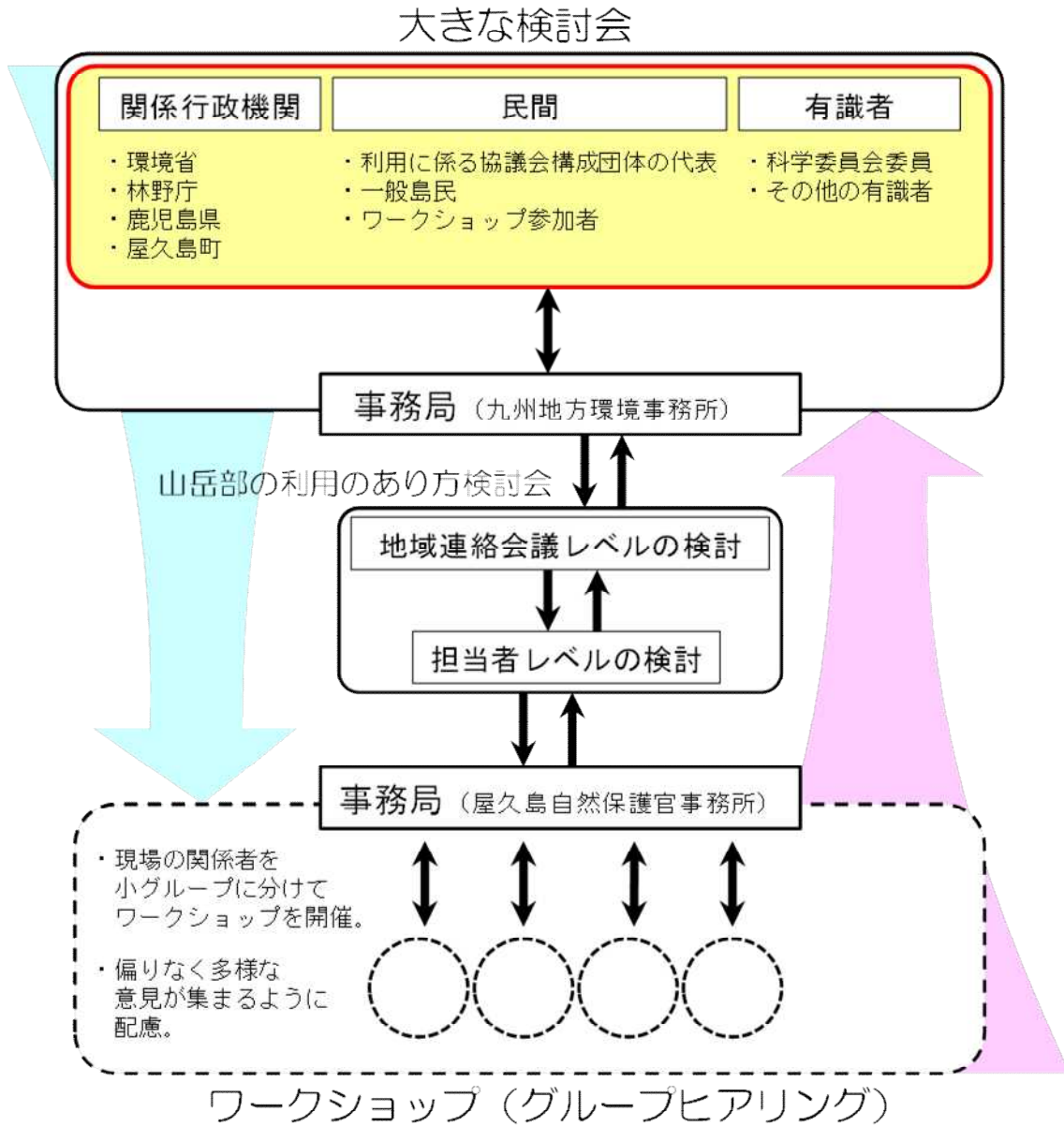
図表 28 「所要時間別」「距離」「累積標高差」「ルート上の階級」によるコースの階級分け

コース	経路地点	所要時間	距離 (km)	累積標高差 (m)	経路ルートの階級 (利用者のレベル)	コースの階級
白谷雲水峽	白谷雲水峽	2:30	3.8	303	1 白谷雲水峽	初級
ヤクスギランド	ヤクスギランド	2:30	3.0	236	1 ヤクスギランド	初級
山登雲水峽	山登雲水峽	4:10	5.6	494	1 山登雲水峽	初級
白谷雲水峽	白谷雲水峽	5:00	7.2	594	2 山登雲水峽	初級
花之瀧	花之瀧	4:20	8.0	459	1 花之瀧 (登山口～花之瀧)	初級
ヤクスギランド	ヤクスギランド	6:30	8.0	744	2 ヤクスギランド 2 花之瀧 (登山口～花之瀧)	中級
澗川登山口	澗川登山口	7:15	10.0	959	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (花之瀧～栗生橋)	中級
モツヂヨム山	モツヂヨム山	6:30	5.8	997	2 モツヂヨム山	中級
摩子登山口	摩子登山口	7:30	8.0	1050	2 摩子登山口	中級
澗川登山口	ヤクスギランド	8:35	12.5	857	1 ヤクスギランド 3 花之瀧ヤクスギランド線 3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧)	中級
荒川登山口	荒川登山口	8:55	21.2	743	2 官立補修機文線 (トロッコ線) 3 官立補修機文線 (大樽峠)	中級
高野形歩道入口	高野形歩道入口	7:15	10.8	1070	4 高野形	中級
澗川登山口	栗生歩道入口	9:30	15.5	952	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 栗生橋	上級
花之瀧	澗川登山口	8:20	13.0	1592	5 花之瀧 (登山口～花之瀧) 5 花之瀧 (花之瀧～澗川口)	上級
白谷雲水峽	澗川登山口	10:25	20.9	965	1 白谷雲水峽 3 澗川線 (大樽峠～澗川口) 3 官立補修機文線 (トロッコ線) 3 官立補修機文線 (大樽峠)	上級
澗川登山口	澗川登山口	10:35	18.0	1281	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧)	上級
白谷雲水峽	白谷雲水峽	11:45	20.6	1217	1 白谷雲水峽 3 澗川線 (大樽峠～澗川口) 3 官立補修機文線 (トロッコ線) 3 官立補修機文線 (大樽峠)	ハードな上級
ヤクスギランド	ヤクスギランド	12:35	17.0	1395	1 ヤクスギランド 3 花之瀧ヤクスギランド線	ハードな上級
澗川登山口	澗川登山口	13:10	17.5	1226	3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧) 3 栗生橋	ハードな上級
栗生歩道入口	栗生歩道入口	11:10	23.0	2077	3 栗生橋 3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧) 3 官立補修機文線 (高野形～中台峯) 3 官立補修機文線 (高野形～中台峯) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧)	ハードな上級
澗川登山口	澗川登山口	14:05	23.4	1500	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧) 3 官立補修機文線 (高野形～中台峯) 3 官立補修機文線 (高野形～中台峯) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧)	ハードな上級
澗川登山口	澗川登山口	13:40	20.4	1715	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧) 3 永田線 (永田線～高野三叉路)	ハードな上級
澗川登山口	花山歩道入口	14:15	21.2	1467	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (高野形～中台峯) 3 永田線 (永田線～高野三叉路) 3 花山線	ハードな上級
荒川登山口	荒川登山口	18:10	30.8	1680	3 官立補修機文線 (大樽峠) 3 官立補修機文線 (高野形～中台峯) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧)	ハードな上級 (目盛り無し)
澗川登山口	水田歩道入口	15:05	22.5	2194	3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧) 3 永田線 (永田線～高野三叉路) 3 永田線 (花之瀧～永田線) 3 永田線 (竹の峠～高野三叉路) 3 永田線 (登山口～竹の峠)	ハードな上級 (目盛り無し)
花山歩道入口	花山歩道入口	18:20	22.0	2054	3 花山線 3 永田線 (登山口～竹の峠)	ハードな上級 (目盛り無し)
永田歩道入口	永田歩道入口	17:40	24.8	2175	3 永田線 (登山口～竹の峠) 3 永田線 (竹の峠～高野三叉路) 3 永田線 (高野形～永田線)	ハードな上級 (目盛り無し)
澗川登山口	澗川登山口	19:10	25.6	2262	3 澗川線 3 官立補修機文線 (澗川口～花之瀧) 3 官立補修機文線 (中台峯～花之瀧)	ハードな上級 (目盛り無し)

※所要時間は「ポケット 登山マップ屋久島」を参照。
 ※距離は登山口の標高等を参照し、標高等がない場所についてはGPSデータから算出。
 ※累積標高差はGPSデータから算出。

- 【ランクの凡例】
- ※ 「所要時間」… ① 6時間未満、② 6時間～7時間未満、③ 7時間～10時間未満、④ 10時間～12時間未満、⑤ 12時間～15時間未満、⑥ 15時間以上
 - ※ 「距離」… ① 5km未満、② 5～10km未満、③ 10～15km未満、④ 15～20km未満、⑤ 20km以上
 - ※ 「累積標高差」… ① 500m未満、② 500～900m未満、③ 900～1000m未満、④ 1000～1200m未満、⑤ 1200m以上
 - ※ 「ルートの階級 (利用者のレベル)」… ① 初級登山者、② 中級登山者、③ 上級登山者とし、コース内の最も高いルートのランクを採用。

図表 37 検討体制のイメージ



(3) 検討内容

検討体制による検討項目については、下記の6項目を想定する。

- 1) 国立公園を中心とした利用に関する課題
- 2) 国立公園としてのビジョン
- 3) 国立公園のゾーニング（ルート及びコースの利用者レベルや管理水準などの階級設定）
- 4) ゾーニング及び興味地点ごとの提供する利用体験やテーマの設定
- 5) ゾーニングに応じた管理目標としての利用のあり方（利用及び自然環境の状態）
- 6) 目標の状態にあるかどうかを評価するための指標

(4) 検討の進め方

ワークショップ等で多くの意見を集約しながら行政機関としての案を作成し、それをたたき台にワークショップ等での検討を実施し、段階的に大きな会議に検討の場を移して、地域として合意された管理のあり方を決定していくプロセスが想定される。具体的には、下記のようなプロセスが考えられる。

- 1) ワークショップを開催して、検討事項に関する関係者の意見を集約。
- 2) 事務局で、意見を踏まえた事務局案を策定。
- 3) 「山岳部の利用のあり方検討会」で、事務局案を検討して行政案を策定。
- 4) ワークショップを開催して、行政案について関係者で検討。
- 5) 事務局で、検討結果を踏まえた行政案の変更案を策定。
- 6) “大きな検討会”で、ワークショップの検討経過を報告し、行政案の変更案について検討。
- 7) 事務局で、検討結果を踏まえて検討事項について最終案を策定。
- 8) ワークショップを開催して、最終案について関係者の意見を集約。
- 9) 意見を踏まえて「山岳部の利用のあり方検討会」が最終案について検討。
- 10) “大きな検討会”で、最終案を決定。

なお、検討のスケジュールについては、下記のとおり想定した。

- 平成 27 年度 検討体制の詳細を決定（環境省業務）
 - 管理方法とゾーニング案を決定（環境省業務）
 - “大きな検討会”の設置要綱の策定
 - “大きな検討会”に参加する科学委員会委員等の有識者を決定
- 平成 28 年度、平成 29 年度 検討体制を構築し、2 力年かけて検討
- 平成 30 年度 適正利用のための管理を運用開始